

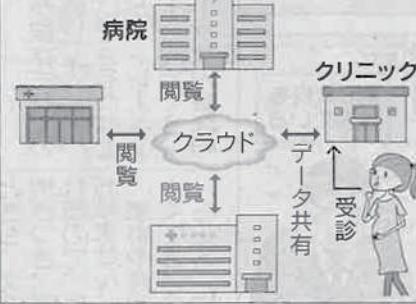
妊産婦のカルテ共有システム

インドネシアで構築

医療ソフト開発のミトラ

18年にも、出産リスク軽減

独自の電子カルテシステムで情報共有する



現地のITエンジニアを起用する(インドネシアのバンドン)

医療ソフトウェア開発のミトラ(高松市)はインドネシアに進出する。診療所や病院など医療機関が妊産婦の健康状態などの医療データを共有する独自システム

1月にインドネシアのバンドンに子会社「ミトラITラボ」を設立した。同社が開発した産婦人科向けの周産期電子カルテ「ハローベイビープロ

18年にも、出産リスク軽減。ミトラは日本では同様の

産時のリスクが高まり、最寄りの診療所から設備の整った病院へ移る際、妊産婦が診断書を持って

新生児・妊産婦死亡率。新生児死亡率は14、妊産婦は12.6で90年の新生児30、妊産婦4.46から大幅に改善した。ただ、15年に新生児1、妊産婦5だった日本と比べると改善の余地は大きい。国連などは全世界の新生児死亡率を15年の19から30年までに12に改善する目標を掲げている。

インドネシアは2億5000万人超の人口があるが、15年の出生数は500万人を超えた。経済発展に伴う生活環境の改善で新生児や乳児、妊産婦の死亡率は改善しているが、日本など先進国と比べると依然として高水準となっている。死亡率改善に向け、妊産婦の医療

現地のソフト開発のほか、ミトラが手掛けているシステムのカスタマイズ業務も委託する。同社は02年の設立で16年9月期の売上高は約7億円。インドネシアでの普及が進めば、将来はベトナムやタイなど東南アジアを中心とした展開も検討する。

JR四国5期連続黒字

今期最終 マンション販売寄与

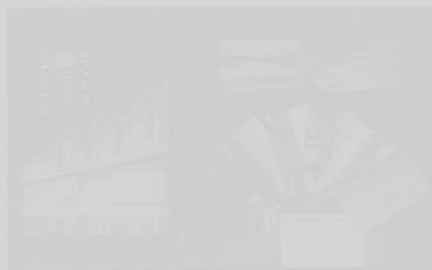
JR四国は8日、2017年度(平成29年度)の決算を発表した。5期連続で黒字を達成した。今期最終はマンション販売が寄与した。売上高は1000億円を突破し、営業利益は100億円を突破した。

GW、鉄道・高速利用増

4県 好天・日並びに恵まれ

今年初のゴールデンウィークは、好天に恵まれ、鉄道や高速道路の利用が増えた。4県(徳島、香川、高松、愛媛)は、GW期間中に好天が続いた。鉄道や高速道路の利用が増え、観光客も多かった。

吉野川の橋 魅力知って



架設工法や歴史など紹介

吉野川の橋の架設工法や歴史などを紹介。この橋は、架設工法が独特で、歴史も長い。観光客にも人気がある。

徳島県が冊子やカードで吉野川の橋の魅力を発信する。冊子やカードを作成し、観光客に配布する。橋の歴史や架設工法について詳しく紹介している。

吉野川の橋の架設工法や歴史などを紹介。この橋は、架設工法が独特で、歴史も長い。観光客にも人気がある。